

2021年3月30日

コロナ禍で困っている人々の力に
熊本県内の外国人留学生を支援
3/25（木）支援内容の報告に伴い、蒲島熊本県知事を表敬訪問

総合健康関連企業の株式会社えがお（代表取締役社長：北野忠男 / 所在地：熊本市東区東町4-10-1）は、コロナ禍における外国人留学生に対する食糧支援について、3月25日に蒲島知事を表敬訪問し、支援内容の報告を行いました。

冒頭、蒲島知事が「長引く新型コロナウイルスの中でアルバイトの機会を失うなど、外国人留学生は困難な状況に置かれています。そのような中で本取り組みは、希望をもたらす素晴らしいものであると感じます」とご挨拶。次いで北野が、「私たちは常に企業の在り方として、誰かの役に立つという信念を持っています。ご両親が日本にいない外国人留学生の皆さんが困っていると聞き、何か私たちにできることはないかという想いで今回支援させていただきました」と挨拶しました。

弊社では、新型コロナウイルス流行に伴い、これまで熊本県への熊本城マラソンのランナー用のポンチョ寄贈や、医療従事者への弊社商品の寄贈など、様々な支援を実施してまいりました。今回の支援は、「他に何かできることはないか」と考えた際に、「頼れる身内が近くにいない留学生が困っているのではないか」と熊本県に問い合わせたことがきっかけです。日本で勉学に励んでいる留学生を応援したいという想いで、3月に熊本県内18の大学や専門学校に通うすべての外国人留学生1,124名にお米をはじめとした食糧を提供しました。

直接支援物資をお渡した学校の留学生からは、「私費留学生でコロナによりアルバイト収入が減っていたため、とても嬉しいです」「今まで留学生に対して支援をいただける機会がなかったため、とても感謝しています」というお声をいただきました。

今後も外国人留学生支援を継続して実施する予定です。



▲報告の様子



▲前列左から 蒲島知事、(株)えがお 北野、(株)えがお 中村
後列左から 熊本県 府高様、熊本県 寺野様、熊本県 小金丸様

<支援概要>

- 支援物資：米(1 kg)1,124 袋、レトルトカレー1,124 袋、カップ麺 2,248 袋
※1 人あたり米(1 kg)1 袋、レトルトカレー1 袋、カップ麺 2 個
- 支援先：以下記載の 18 の大学・専門学校に通う外国人留学生合計 1,124 名
熊本大学、熊本工業専門学校、九州工科自動車専門学校、
専修学校熊本 YMCA 学院、専門学校湖東カレッジ（本校、唐人町校）、崇城大学、
九州測量専門学校、東海大学九州キャンパス、九州中央リハビリテーション学院、
熊本学園大学、中九州短期大学、熊本外語専門学校、
熊本高等専門学校（熊本キャンパス、八代キャンパス）、熊本県立大学、
東方国際日本語学校、九州看護福祉大学、九州ルーテル学院大学、熊本保健科学大学

<これまでえがおが実施したコロナ禍支援>

- 2020 年 5 月 熊本市へ熊本城マラソンランナー用のポンチョを寄贈
(当時不足していた医療用ガウンの代用品として活用いただくため)
- 2020 年 6 月、2021 年 1 月、3 月 医療従事者へ自社商品を寄贈



▲九州工科自動車専門学校での
寄贈の様子



▲専門学校湖東カレッジでの寄贈の様子